

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	英語Ⅳ A	
科目基礎情報						
科目番号	0087		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科		対象学年	4		
開設期	前期		週時間数	前期:2		
教科書/教材	Power-UP English Pre-Intermediate (南雲堂) プリント、英和辞典、和英辞典、電子辞書					
担当教員	新福 豊実,鞍掛 哲治,アニス ウル・レーマン					
到達目標						
1. 工業英検3級程度の語彙・構文・基本表現を理解できる。 2. 実用英検の準2級程度の語彙・構文・表現が理解でき、リスニングの問題も解くことができる。 3. TOEIC450点レベルのreading&listeningの問題を解くことができる。 4. business英語の語彙・構文・表現を理解できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	工業英検準2級程度の語彙・構文・基本表現を理解できる。		工業英検3級程度の語彙・構文・基本表現を理解できる。		工業英検3級程度の語彙・構文・基本表現を理解できない。	
評価項目2	実用英検の2級程度の語彙・構文・表現が理解でき、リスニングの問題も解くことができる。		実用英検の準2級程度の語彙・構文・表現が理解でき、リスニングの問題も解くことができる。		実用英検の準2級程度の語彙・構文・表現が理解できず、リスニングの問題も解くことができない。	
評価項目3	TOEIC450点レベルのreading&listeningの問題を解くことができる。		TOEIC400点レベルのreading&listeningの問題を解くことができる。		TOEIC400点レベルのreading&listeningの問題を解くことができない。	
評価項目4	business英語の語彙・構文・表現を理解でき、使用することができる。		business英語の基本的な語彙・構文・表現を理解できる。		business英語の基本的な語彙・構文・表現を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	実用英語能力の向上を目指し、一例としてTOEICに対処できるリスニング、および語彙力、構文、読解等の学習強化をはかる。					
授業の進め方・方法	英検2級以上取得, TOEIC450点以上獲得, 工業・business英語を正しく読み書きできる英語力を養うための学習コースである。 4年生までに習得した英語(語彙、文法、読解等)の復習及び発展・強化を主軸として授業を進めていく。					
注意点	予習・復習を十分に行之い、各自、語彙力、文法力、読解力、リスニング力の強化のため、日々英語学習に取り組むこと。なお、本科目は学修単位〔講義Ⅰ〕科目であるため、指示内容について60分程度の自学自習(予習・復習)が必要である。〔授業(90分)＋自学自習(60分)〕×15回。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		
☐ 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1. College Life (1)	☐ 英語の音声の規則が理解できる。		
		2週	1. College Life (1)	☐ 英語の音声の規則が理解できる。		
		3週	2. College Life (2)	☐ 品詞が理解できる。		
		4週	2. College Life (2)	☐ 品詞が理解できる。		
		5週	3. Hobbies	☐ 自動詞・他動詞が理解できる。		
		6週	3. Hobbies	☐ 自動詞・他動詞が理解できる。		
		7週	4. Romance	☐ 英語の音声の規則が理解できる。		
		8週	4. Romance	☐ 英語の音声の規則が理解できる。		
	2ndQ	9週	5. Transportation	☐ 5文型が理解できる。		
		10週	5. Transportation	☐ 5文型が理解できる。		
		11週	6. Business	☐ 時制が理解できる。		
		12週	6. Business	☐ 時制が理解できる。		
		13週	7. Society	☐ 完了形が理解できる。		
		14週	7. Society	☐ 完了形が理解できる。		
		15週	Wrap Up	☐ 上記項目について理解を深めることができる。		
		16週	After exam review	試験において誤った部分を理解できる。		
評価割合						
	試験		平常点		合計	
総合評価割合		70		30		100
基礎的能力		70		30		100